

4 温室効果ガスの排出の状況

基準年度（令和6年度）の温室効果ガス排出の状況

|                                |                   |       |                   |
|--------------------------------|-------------------|-------|-------------------|
| ①エネルギー起源二酸化炭素の排出量              |                   | 5,187 | t-CO <sub>2</sub> |
| ①<br>（温室を除く<br>二酸化炭素<br>換算排出量） | ②非エネルギー起源二酸化炭素    |       | t-CO <sub>2</sub> |
|                                | ③メタン              |       | t-CO <sub>2</sub> |
|                                | ④一酸化二窒素           |       | t-CO <sub>2</sub> |
|                                | ⑤ハイドロフルオロカーボン類    |       | t-CO <sub>2</sub> |
|                                | ⑥パーフルオロカーボン類      |       | t-CO <sub>2</sub> |
|                                | ⑦六ふっ化硫黄           |       | t-CO <sub>2</sub> |
|                                | ⑧三ふっ化窒素           |       | t-CO <sub>2</sub> |
|                                | 温室効果ガス総排出量（①～⑧合計） |       | 5,187             |

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標

|                  |      |
|------------------|------|
| 温室効果ガスの抑制の目標設定方法 | 総排出量 |
|------------------|------|

| 項目 | 基準年度 令和6年度<br>排出量（実績） |       | 目標年度<br>目標排出量     |       | 令和9年度<br>目標削減率    |     |
|----|-----------------------|-------|-------------------|-------|-------------------|-----|
|    | 温室効果ガス<br>総排出量        | 5,187 | t-CO <sub>2</sub> | 5,156 | t-CO <sub>2</sub> | 0.6 |

| 項目 | 基準年度 令和6年度<br>排出量（実績） |  | 目標年度<br>目標排出量     |  | 令和9年度<br>目標削減率    |  |
|----|-----------------------|--|-------------------|--|-------------------|--|
|    | 原単位当たりの<br>排出量        |  | t-CO <sub>2</sub> |  | t-CO <sub>2</sub> |  |

（2）目標設定の考え方

|                              |
|------------------------------|
| 温室効果ガスを1年間に0.2%ずつ、3年間で0.6%削減 |
|------------------------------|

- 備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
- 備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。
- 備考3 原単位当たりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量当たりの温室効果ガス排出量をいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制等に係る措置

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置

| 取組の区分                 | 具体的な取組の内容  | 取組の目標                                   |
|-----------------------|--|---|
| 省エネルギー・省資源の行動の実践・冷暖房  | 従業員の体調管理を鑑み、制服にポロシャツを導入し気候変動に合わせて、個人が選択できるようにした。     | 寒暖差に応じて被服を選択できるように期間を設定し、エアコンの稼働率を下げる。  |
| 省エネルギー・省資源の行動の実践・冷暖房  | 不要な冷房、暖房はこまめに切切る。また適切なエアコンの温度設定を行うことでエネルギー使用量削減に努める。 | エアコンの設定温度は、夏は28℃、冬は25℃に設定。              |
| 省エネルギー・省資源の行動の実践・照明   | 昼間時間帯で十分照度のある場合は、不要な照明の消灯に努める。                       | こまめに照明のスイッチのオン・オフを行う。                   |
| 省エネルギー・省資源の行動の実践・OA機器 | パソコンを省エネモードに設定。また退社時はパソコンの電源をオフとする。                  | パソコン、プリンターを長時間使用していない時は、スリープモードになるよう設定。 |
| 自動車等輸送機関に対する対策        | 環境運転の指導徹底を行う。  | デジタルタコグラフ出力データを活用し、従業員へエコ運転を意識づける。      |
| 廃棄物の排出抑制              | 両面コピー、裏紙利用によりコピー用紙の削減。また、紙資源の分別を確実にを行う。              | リサイクルコピー紙使用。                            |
| 廃棄物の排出抑制              | 会議など行う際には、資料を印刷せず、PCの画面を共有することで印刷物の削減。               | 会議等へ出席する際は、ノートPCを持参する。                  |
| 自動車利用における取組           | 次世代自動車を導入  | バスから排出される排気ガスの削減                        |
| 非化石エネルギー及び未利用エネルギーの利用 | 太陽光発電エネルギーの活用  | 太陽光発電で得た電力を自営業所の電力に充填。                  |

指針第1号様式

(2) 非化石エネルギーへの転換に関する措置

ア 非化石電気に関する目標

| 指標                     | 目標 (2030年度) |
|------------------------|-------------|
| 使用電気全体に占める<br>非化石電気の比率 | %           |

イ 計画期間における非化石エネルギーの利用

令和7年度にリニューアブルディーゼルバス：1台導入予定

(3) 環境価値（クレジット等）の活用

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置

(5) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組

エアコンフィルターの清掃日に設定。空調の効率化に努める。